



枚方市PR大使

本石昌也さんが就任

市は、15組目の枚方市PR大使として新たにグリーンツダボクシングジム会長で数々の社会貢献を行ってきた本石昌也さん（45歳・写真）を任命しました。就任期間は、令和3年8月1日～5年3月31日まで。8月8日に総合体育館で開催の同ジム主催ボクシングマッチ「クラッシュボクシング Vol.23」で就任式を行います。

市内在住・在学の小中



本石 昌也(もといしまさや) 北中振1丁目在住。井岡弘樹さんら3人の世界王者を輩出した同ジム第4代会長。西日本ボクシング協会事務局長。平成29年から市内でボクシングマッチを開催し小中高生や福祉施設に観戦チケットを贈呈。令和3年にはボクシング界で2人目となる(一財)日本ボクシングコミッションのダイヤモンド・フィスト賞受賞。

高生を無料で招待(19ページ参照)。ボクシングを通じて「夢を持って生きていく」ことの大切さを一人でも多くの枚方の子どもたちに伝えたいと意気込みます。

☎ 広報プロモーション課 ☎ 841・1258、FAX 846・5341

大規模災害時の遺体搬送などで連携 葬祭事業者3社と新たに協定締結

市は、葬祭事業者の株式会社スタイトル花壇、南海グリーンフサポート株式会社、有会社ラストライフの3社と「災害時における棺および葬祭用品の供給等の協力に関する協定」を締結しました。大規模災害が発生し多数の犠牲者が集中的に出た場合、速やかに葬祭し故人の尊厳を守ることを目的に、平成23年8月から計17社と締結。

葬祭用品や遺体安置施設の提供、遺体搬送などを行います。6月28日の協定締結式で、伏見市長は「連携を深め、災害対応に力を入れたい」と話し、同事業者3社は「万が一のときの一助となれば幸い」と話しました。

☎ 環境政策室(環境保全担当) ☎ 050・7102・6009、FAX 849・1206

6月定例会

補正予算案や 人事案件などが可決

令和3年6月定例会月議会は6月25日に終了しました(6月11日の審議結果は7月号に掲載)。25日の本会議では、新型コロナウイルス感染症対策としてプレミウム付商品券事業費などを含む一般会計補正予算案などが可決。また、「学校教育におけるデジタ

ルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書」など2件の意見書が可決されたほか、人権擁護委員候補者の推薦について津熊友子氏、吉田孝司氏が適任とされました。

☎ 市議会事務局 ☎ 841・1528、FAX 841・0240

伏見市長の情熱日記



かけがえのない文化芸術

枚方の新しい「顔」となる総合文化芸術センターがいよいよオープンします。3年前の大阪北部地震により市民会館大ホールが使用できなくなり、コロナ禍も加わって少なくなっていた文化芸術に親しむ機会を、新たなホールで市民の皆さんとこれから楽しめようと思うとワクワクします。

さて、今月号の特集では総合文化芸術センターを辰巳琢郎さんにご紹介いただきました。取材後の辰巳さんとお話しさせていただきましたが、「人々が生きていく上で文化芸術はなくてはならないもの」という言葉は深く心に刻まれました。音楽や演劇などのパ

フォーマンスの素晴らしさはもちろん、全力で挑むアーティストの可能性や人間ドラマも観る人に生きる喜びを与えてくれます。そして市民の皆さんも自らが望めば人間ドラマの作り手にも出演者にもなれます。

コロナの対応では常に「何を優先すべきか」という難しい問いに直面します。当然ながら「命」が最優先ですが、人生を豊かにする文化芸術もかけがえのないものです。

今後も感染対策を徹底し、その時々状況に対応しながら、新たな文化芸術の拠点を市民の皆様と一緒に盛り上げてまいります。

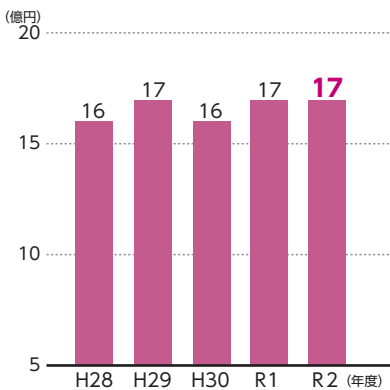


▼一般会計決算の状況

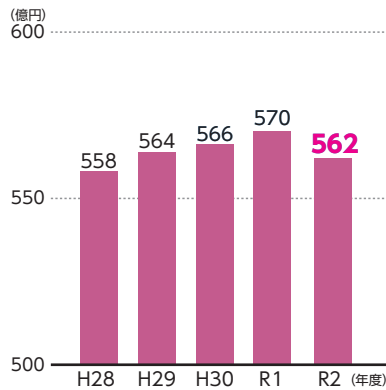
区 分	令和元年度	令和2年度
歳入額	1381億2200万円	1930億9400万円
歳出額	1356億700万円	1896億1100万円
歳入歳出差引額 A	25億1500万円	34億8300万円
翌年度繰越額 B	8億6200万円	18億200万円
実質収支 A-B	16億5300万円	16億8100万円
単年度収支	8700万円	2800万円

※単年度収支は前年度実質収支との差額となります。

実質収支の推移



市税収入の推移



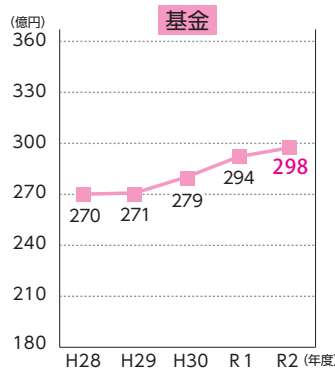
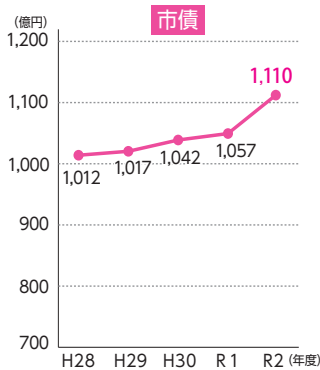
令和2年度決算速報値 実質収支は17億円の黒字

◎財政課 ☎841・1311、☎841・3039

令和2年度一般会計の決算見込みがまとまりました。歳入では、市税が減少したものの、地方消費税交付金や新型コロナウイルス感染症関連の国庫支出金が増加しました。歳出では、特別定額給付金（1人10万円）やひとり親世帯への給付金など新型コロナウイルス感

染症への対応により補助金や扶助費が増加し、総合文化芸術センターの整備や枚方市駅周辺地区市街地再開発事業などにより投資的な経費も増加しました。自治体の決算を表す実質収支は17億円の黒字で、単年度収支では3千万円となりました。

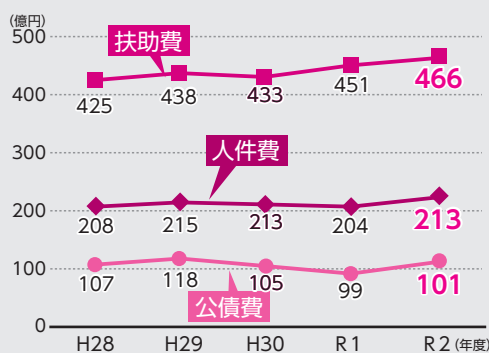
普通会計の市債・基金現在高の推移



市債とは、多額の経費が必要な建設事業の単年度の負担を軽減し、計画的な財政運営を行うために国や銀行等から借りるお金のことです。このほか、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債という借入金があります。令和2年度末の市債現在高は、総合文化芸術センター整備事業などにより、前年度に比べて53億円の増加となりました。また、令和2年度末の基金現在高は4億円の増加となりました。

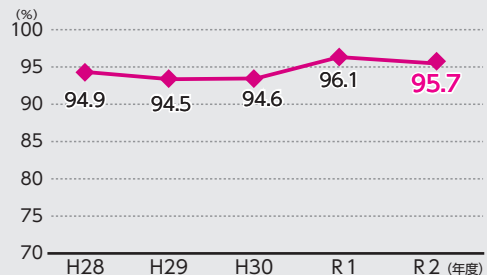
市債残高は53億円の増加

普通会計の人員費・扶助費・公債費の推移



経常収支比率の推移

財政の弾力性を示す財政指標。数値が低くなるほど自由に使えるお金が増えることを示しています。



※決算の詳細は広報ひらかた10月号でお知らせします。